

大谷學報

第五十六卷 第四号

昭和五十二年 二月二十日発行

| | |
|------------------------|------------|
| 「功德」という語について…………… | 桜部 建 (1) |
| 宗祖の『観経』理解について…………… | 白井 元成 (8) |
| 広宣上人考(上)…………… | 平野 顯照 (22) |
| ——唐代詩僧伝—— | |
| 許しと理解について…………… | 鈴木 幹雄 (36) |
| 刑罰と福祉…………… | 藤井 恵 (45) |
| ——犯罪者処遇における更生保護思想の展開—— | |
| 秋季公開講演会要旨 | |
| 信心の行人…………… | 廣瀬 杲 (62) |
| ソクラテスの自然学批判…………… | 箕浦 恵了 (64) |
| 日本の近代幼年童話と新美南吉…………… | 斎藤寿始子 (68) |
| 清沢満之の思想形成…………… | 大桑 斉 (70) |
| ——東京留学期における—— | |
| 阿頼耶識思想の形成について…………… | 舟橋 尚哉 (73) |
| 寄贈交換誌目録…………… | (77) |
| 彙 報…………… | (86) |

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第二十七集

親鸞における曇鸞教学の受容と展開……幡谷 明

——親鸞教学の形成過程を

中心とする一考察——

法華統略の研究……三桐 慈海

想像力と空想力の区別についての研究……山下 登

——S. T. Coleridge を中心として——

元朝における政治と仏教……藤島 建樹

大谷大学研究年報 第二十八集

妙法としての円融三諦とその思想的背景

——法華文義研究序説……福島 光哉

ソクラテスと学……箕浦 恵了

親鸞の主体性論序説……小野 蓮明

中世末期における蓮如像の形成……大桑 育

——願得寺実悟の場合——

アメリカ公教育の成立過程……田中圭治郎

——その教育史的把握——

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles:

The Word *Kung-tê* (功德) *Hajime Sakurabe* (1)

Shinran's Understanding of the *Meditation Sutra*
..... *Genjo Usui* (8)

A Study of Kuang-hsüan shang-jên
—The biography of a poet-priest of the
T'ang dynasty (1)— *Kensho Hirano* (22)

Forgiveness and Understanding *Mikio Suzuki* (36)

Punishment and Welfare
—Development of the rehabilitation ideal
in the treatment of offenders— *Megumu Fujii* (45)

Resumés of the Otani Society Public Lectures
given in Autumn, 1976 (62)

Miscellaneous

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

- 一、季刊「大谷学報」の発行
- 二、「大谷大学研究年報」の発行
- 三、研究会及び公開講演会の開催
- 四、その他必要な事業

第四条 本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

- 一、会 長
- 二、委 員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

会務を統理する。

第七条 委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け本会主催の会合に出席することができる。

第九条 会員の会費は年額金壹千五百円とする。

第一〇条 本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第十一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第十二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 この規程は昭和四十八年四月

一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員

稲葉 正就 岩見 至

大屋 憲一 日下部有信

訓覇 晔雄 桜部 建

佐々木教悟 平野 顕照

藤原 幸章 山本 唯一

昭和五十二年二月二十日発行

大谷学会

編集兼 北 西 弘
発行者

印刷者 西村 七兵衛

京都市北区小山上総町

大谷大学内

発行所 大谷学会

振替 京都一八三九三番
電話 〇七五 四三二二三代

郵便 番号 六〇三